

JWTC NEWSLETTER

Vol.28 No.1 April 2008

第28回 JWTC総会 開催

2008年2月23日(土)、第28回JWTC総会が表参道・東京ウィメンズプラザにて開催されました。当日は69名(うち委任状44名)の出席者のもと、近藤多津子会員の総会司会、佐々木みどり会員の議長によって議事が進行しました。

主な議事については次の通りです。

(1) 2007年度活動報告

事業部からは、3回の勉強会の成果としてビジターが入会する例が数件あったこと、ホームページプロジェクトからは、07年12月に会ホームページがオープンしたとの報告がなされました。(http://www.jp-jwtc.org/)

(2) 2007年度会計報告ならびに会計監査報告

総務部から、予算比が一覧できる見やすい新フォーマットになって2年目の決算報告書に基づいて発表されました。

(3) 2008年度活動計画

会員数が減少している現状を受け、広報部からは、会員が少ない“ならでは”のネットワーキング作りを会報を通して実現し、結束を高めたいと抱負が述べられました。

事業部では、勉強会の企画・運営にあたり『地球にやさしく、自分にやさしく』の大テーマの下、女性を取り巻く就労環境や10年後の自分に焦点を当てて勉強会を年3回開催予定です。

会員部では、新入会員10名を目標とした活動が予定されています。今年度はすでに3名の入会があり、活動に加勢しています。

名古屋支部は、正会員が準会員に移籍するなど、実働要員の減少に対し“私たちがらしさ”を失わず、『元気印の名古屋』を持ち味に年3回の勉強会を計画しているとの報告がありました。

戸井川新会長からは、「何事も『熱心でなければ人は動かない』の信念をもって会の発展につなげていきたい。また“具体的”な会運営を目指す」との抱負が語られました。



2008年度役員の皆さん(次ページに役員のご紹介)

熱意を持って

JWTC 会長

戸井川 裕美子 (株)ピコ



私ごとで恐縮ですが、私は大学で中国文学を学び、中国関係の仕事がしたく、たまたま就職したのが旅行会社でした。当時の中国旅行はきわめて特殊で、名前は旅行会社でも全く同業者との横のつながりがありませんでした。同じ時期に入った同僚や後輩たちは次々と退職し、周りを見れば男性ばかり。そんな中これから自分はどうしたらよいのだろうと漠然とした不安をかかえる毎日でした。

そんな時、新聞で偶然、日本旅行業女性の会の記事を読

みました。もしかしたら、何か得られるかもしれないと思い、新聞社に問い合わせをし、事務局を訪ね、ようやく会の方と連絡がとれました。それから厚かましくお願いをして入会したのが私の入会のいきさつです。多くの会員の中でも押し掛けて入ったのは私ぐらいかもしれません。

それから20年近い歲月、この会の活動に携わってきました。多くの仲間や知人の知恵をもらい、助けてもらいました。このことは今の私の大きな財産となっています。

今回、縁があって会長になりました。業界の環境も入会時では考えられないような変化が起きています。自分のために入会した会ですが、今までの分を恩返しする時期かもしれません。入会の時のように熱意を持って、これからは会や業界のために微力ながらお手伝いできたらと考えています。どうかよろしく願います。

2008年度 役員紹介

よろしくお願ひいたします。

●副会長 田辺典子 (株)京王プラザホテル

これまで広報部で活動をしておりましたが、このたび副会長のお役目を任命されました。力不足ではございますが皆様にご協力をいただき、戸井川会長の足を引っ張らぬよう努めたいと思います。



JWTCに入会させていただいてから約10年、当時は年少(?)の部類でしたが、次々と新入会員の方が入れ、今となっては年齢だけは中堅になってしまいました。JWTCで企画するセミナー、ホテル見学会、また親睦会や中国訪問旅行など、会員だからこそ経験できる充実した内容のものばかりです。同じ旅行業でも業種が異なるメンバーの皆様から役立つ情報をいただいたりお話をしたりと、私自身とても楽しく過ごしています。

これまであまり参加をする機会が無かった方にも、今年からはぜひご参加いただき、見聞を広めながら交流を深めていただくことができれば...と考えております。また、2007年度には齊藤久美子さんを座長とするプロジェクトにより念願のHPが開設され、JWTCの存在をより多くの方にご紹介するツールとして活用できるのではと期待しています。

至らぬことが多々あると思いますがどうぞよろしくお願いいたします。

●総務部長 有元恵子 東ソー総合サービス(株)

先回の改選での突然指名の際は総務部の経験もなかったため、まずは会の底辺を担う部と心得、自身に分かりやすい、透明性のある部の運営を、と心掛けました。



これまでどうにかやってこられたのは、経験と個性豊かな、部の面々のお陰です。

若手に新人も加わった今年、よりすっきりした形で、次代の誰でもに引き継げるようにと思い、引き続きお受けしました。改めまして、どうぞよろしくお願いいたします。

この会は手弁当の会ですから、皆さんの参加と協力が不可欠です。部としては各種督促等々、地味な裏方ですが会を支え、部の活動は皆で楽しくやっていけたらと思っています。

●事業部長 田中映子 トラベル・インダストリー・アソシエーション

旅行業界で働いている女性の数は年々増加しているにもかかわらず、会のメンバーが減少していることは大変残念なことです。



今年は、特に現役メンバーが気軽に参加できるような勉強会を企画し、元気よく活動できる会に変化を遂げる機会を作りたいと思います。ぜひ、皆さんもご協力ください。

●広報部長 坂本友理 (株)ジェーティービー

「そろそろ順番かな」と受け身で広報部長を引き受けさせていただきました。これまでも、これからも広報メンバーに支えられつつ、会員の方々に有用な情報をニュースレター中心に提供していきたいと思っております。



目標は「自身の主体性と自立」「広報部、運営委員会を中心としたネットワークング」。

現在の会社の仕事は「ダイバーシティ(多様性)推進」。数多くの異業種の女性と交流を図っておりますが、ネットワークングの効果って大きいなと日々感じております。

一メンバーの時は、会の活動への出席率が低い劣等生でありました。今年からフルにネットワーク活動ができるよう、まずはスケジュール管理を徹底(?)してまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

●会長部長 山科ほとり トップツアー(株)

春は爛漫、このレターがお手元に届くころは若青葉の美しい季節になっているでしょう。皆様は何度目の春ですか?あんなことこんなこと仕事人生いろいろありますね。



JWTCは会員同士の交流を通してたくさんのヒントを得られる場だと思います。そのためにも会員情報の管理と懇親会の運営は大切と心得、甚だ未熟ですが、皆様のお力添えをもって、会員部長を務めたいと存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

●名古屋支部長 草次昌子 (株)リッチトラベル

昨年度、名古屋支部長となり、失敗を繰り返しながらも、皆さんの助けをいただき活動をして参りました。ありがとうございました。



今年に入り、2月には新年会、3月には第1回勉強会。また、毎年行っている盲導犬協会への古タオル寄付と、活動を進めています。名古屋支部では、会員が少ないながらも自分たちらしく地道に、そして明るく活動をしていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

●会計監査 西鳥羽洋子 (株)ウエンス

この会ができたころ、業界の先輩たちばかりで、眩しい思いで見ているのに、あっという間に28回総会。その設立当初からの数少ないメンバーになってしまいました。



時代に合わせて、今の中心世代の方々にお任せした運営の有り方で、と思いながら、一方で、会の歴史を知ってるものがお手伝いするのも大事な事かと思ひました。引き続き今年度も監査役をお引き受けいたしました。

会員の数も減ってしまいましたが、逆に顔の見える、会員であることに意義の見出せる、そんな会を今年は期待したいと思ひます。よろしくお願いいたします。



40年以上にわたる旅行業界の仕事を通して、いつしか趣味の音楽ツアーを試みることになりました。欧州音楽ツアーはここ10数年以上毎年続いています。

毎年夏の欧州音楽祭、欧州各地のオペラ劇場でのオペラ・コンサート鑑賞、遠くイタリア・シシリー島は作曲家ベルリオーニの故郷、カタールニャのベルリオーニ劇場でのオペラ“ノルマ”鑑賞など、夢は現実になっています。

■想い出■

チェロの巨匠・パブロ・カザルスの故郷を訪ねて

御茶ノ水のカザルスホール（現・日本大学芸術学部カザルスホール）の仕事を手伝っていた時、カザルスの名を冠する「カザルス・ブラド音楽祭」という憧れの地へ行く機会に恵まれました。

スペインのカタロニア出身のパウ・カザルス（カタロニア語ではパウ・カザルス）は



モン・セラートの山麓に立つカザルス像

スペインのフランコ独裁政権に反抗して、フランスに亡命、ブラド（スペインとの国境に近いピレネー山脈麓の小さな町）に亡命してしまいました。山に閉じこもったカザルスの元へ音楽家たちが駆けつけ、開かれるようになったのが、ブラド音楽祭です。

さて、毎年開かれるこの音楽祭に行くツアーが企画されて、私も訪れることができました。

ブラドの町の中心は教会・市役所で観光局はカザルス音楽祭事務所を兼ね、博物館にはカザルスのチェロ、楽譜、オーバーコートや帽子、パイプやステッキ等の愛用品が展示されていました。

音楽祭を前にして、町の小さなホテルには演奏家もたくさん滞在しており、部屋から練習中のヴァイオリンの音が聞こえたり、ロビーでチェリストのミッシェル・マイスキー氏とばったり出会ったり。今思えばどうしてサインを頂かなかったかと残念です。

町からカニグー山に続く細い山道をくねくねと登り詰め、たどり着いたところが12、3世紀のロマネスク教会、サン・ミシェル・クサ修道院で、ここが主要な音楽祭会場です。灼熱の太陽が沈んで涼しくなった夕方、コンサートに向かう観光客や演奏家の列が一本道に続き、600人ほど入れる教会は着飾った村人や遠くからの観光客で溢れんばかりでした。

修道院の静謐の中に響く楽器の音色にうっとり、遠くここまでやって来たことが夢のようでした。

翌日は町中を散策。“カザルス”通りや“鳥の歌”通り、カザルスの銅像、彼が永年暮らした住居を見ました。庄巻はバルセロナ郊外のモン・セラート訪問。ワグナーが靈感を得たという奇岩山・聖杯城があります。オペラ“パルシバル”の舞台であり、近年では映画“インディジョーンズ”の聖杯を探す舞台がここにあります。

さらに、ベネディクト派修道院、カタロニアの守護神の黒いマリア像、800年も続くエスコリア少年聖歌隊（カザルスも指導したとか）を訪問、チェロを弾くカザルスの銅像はモン・セラートの山麓に毅然として立っていました。

カザルスが国連でチェロ演奏したというカタロニア民謡『鳥の歌』の音色は、平和を願ったカザルスの心と共に私たちの心に深く響き渡り、ピレネー山脈の片田舎の風景そのままのようでした。

旅を通して、音楽がいか人の心に訴えるものかを実感することができます。音楽を通じて平和な世界を祈りつつ欧州音楽の旅は足の衰えを心配しながら、まだまだ続けたいと思います。ご賛同の方はぜひご一報を。旅行業界に身をおいた幸せを感じているこのごろです。

今回は㈱クルーズバケーションの木島栄子さんへバトンタッチ。あまりお目にかかれぬ木島さんですが、ぜひよろしくお願ひいたします。

JWTC 事業部 坂本 康子

★新入会員紹介★

会員 No.410

雨宮 早苗

ジェイ エッチ シー(株)



この度はJWTCへの入会の機会をいただき、誠にありがとうございます。

私は現在ジェイエッチシー(株)にてカンボジアランドオペレーター営業を担当しております。

同じ業界で働く女性の会、ということで様々な情報交換ができることを非常にうれしく思っております。せっかく素晴らしい機会をいただいたので、積極的に活動していきたいと思っております。不慣れな点もあるかと思いますが、今後ともどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

会員 No.411

竹田 久美子

富士急トラベランス



今年度「JWTC」に入会させていただきました富士急トラベランスの竹田と申します。

弊社では、第二営業部に所属して、団体営業を担当しています。

諸先輩方のご指導とご教授を賜りながら、明るく楽しく活動して参りたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

会員 No.412

橋本 かおり

京王プラザホテル



初めまして。私は、現在、京王プラザホテルで宿泊予約を担当しております。

同じサービス業でも、職種の違う皆様とお話させていただけることを、とても光栄に思っております。

様々な勉強会や会合、見学会などがあると伺っておりますので、ぜひ見聞を深めて自分を成長させていきたいと思っております。

どうぞよろしくお願ひいたします。

<勉強会の報告>

ロングステイ事業について —課題と問題点—

講師：熊崎直子氏

(有)エヌティアドバイザーズ 代表取締役

日時：2008年3月18日(火)

12:00~14:00

出席者：会員10名 ビジター2名 計12名



講師の熊崎氏は、法人企業を顧客として手配旅行を主に展開し、そして「名古屋ペナンクラブ」というペナン島ロングステイの企画手配・販売の事務局も兼ねてみえます。

「名古屋ペナンクラブ」は、地元企業の東海染工の名誉会長八代健三郎氏の「戦時中お世話になったアジア諸国に恩返しをしたい」との思いで発足した会で、たまたま熊崎氏が取引先であったことから事務局の白羽の矢が立ったとのこと。

勉強会では実務経験を通じての課題、問題点をお話ししていただきました。

マレーシア(ペナン島)は、ロングステイ先として人気第2位。日本から近く、リゾートと都会と歴史が併存しており、物価も安く日本語が通ずる医療施設もある。親日的であることも魅力。また、人気あるチェンマイよりもインフラがよいことが挙げられます。

『日本におけるロングステイは、近年の寿命が延び、その割に年金額が低いことから、同じ生活をするなら……、という発想でスタートする方が多く、海外旅行経験の少ない方や現地での食生活の適応力に問題があると、海外で安い生活をと願っても厳しい。海外に滞在中でも、日本での必要経費が無くなるわけではない。お財布の中を数えながらの生活では、有意義な生活を得られるのか？

実際に中部地区で、ロングステイセミナーを開催すると、驚くほどの参加申し込みがあるが、その参加者から申し込みにつながらない。旅行会社がビジネスとして成立する分野は「視察旅行」に限られるのではない。』

と、イメージが大きい割には厳しい見解を氏は持っておられたことに、考えさせられた勉強会となりました。

木下弓子

岐阜女子大学 観光文化学科 非常勤講師

◆ 運営委員会だより ◆



平成19年12月、平成20年1月、2月、3月の運営委員会では各部の報告が以下のように行われました。

□ 総務部 □

- 総会全般について
- 2007年度決算・2008年度予算について

□ 事業部 □

- 2008年度活動計画について
- 2008年度勉強会は『地球にやさしく 自分にやさしく』をテーマとして企画

□ 会員部 □

- 新入会員 3名 退会会員 2名
- 2008年度会員親睦会について、前年度同様企画予定

□ 広報部 □

- 2008年度よりHPメンテナンス管理の窓口としての活動が追加される
- ニュースレター Vol.28 No.1 April を作成中。4月送付予定

□ その他 □

- 規約改定について
- 役員選出について



👁️ 会員の皆様へ お得な情報 👁️

ゴールデンウィークは

「ザ・リッツ・カールトン北京」へ!

このGWに向けて、昨年12月にオープンした「ザ・リッツ・カールトン北京」が、会員の皆様へお得な料金で快適空間をご提供します。

期間：4月27日～5月7日

料金：1ルーム・1泊 2名(朝食付き)
RMB990-net(約14,400円)

◎ホテルの詳細についてはホームページをご参照ください。
www.ritzcarlton.com <<http://www.ritzcarlton.com/>>

◎お問い合わせは弊オフィスまで
ザ・リッツ・カールトン・ホテル・カンパニー
TEL03-5210-7512 伊崎 留為子
Email: ruiko.izaki@ritzcarlton.com